



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 秋田 泰

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	281,878	4.8	34,841	△3.7	31,498	△14.8	34,004	67.3
22年3月期第3四半期	269,059	2.4	36,173	36.6	36,972	63.6	20,323	89.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	180.12	174.91
22年3月期第3四半期	319.65	319.63

(注) 当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割をいたしました。

これにより、1株当たり四半期純利益及び、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の平成23年3月期第3四半期の数値は株式分割を勘案した数値を、また、平成22年3月期第3四半期の数値は株式分割を勘案していない数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	468,470	224,849	44.7	1,108.11
22年3月期	307,773	207,413	59.7	2,922.16

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 209,192百万円 22年3月期 183,888百万円

(注) 当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割をいたしました。

これにより、1株当たり純資産の平成23年3月期第3四半期の数値は株式分割を勘案した数値を、また、平成22年3月期の数値は株式分割を勘案していない数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
23年3月期	—	42.00	—		
23年3月期(予想)				14.00	56.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割をいたしました。平成23年3月期(予想)の期末の配当金金額は株式分割を勘案した金額を記載しております。平成22年3月期及び平成23年3月期第2四半期末の配当金金額は株式分割を勘案していない金額を記載しております。

なお、平成23年3月期(予想)の合計の配当金金額は1株当たりの単純合計金額を記載しております。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	393,000	10.1	46,000	2.1	43,000	△6.2	32,000	30.8	169.50

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割をいたしました。

平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 206,944,773株 | 22年3月期 | 68,981,591株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 18,161,793株 | 22年3月期 | 6,052,515株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 188,785,596株 | 22年3月期3Q | 63,579,678株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は、平成22年4月30日開催の当社取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して決議し、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
(6) その他の注記事項.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外市場におけるパーソナルケア関連商品の需要が引き続き拡大しております。一方、国内市場においては、パーソナルケア及びペットケア関連商品の一部で市場が縮小する一方、高付加価値商品に対する需要も見られます。

海外事業では、主要参入各国において展開エリアの拡大と積極的なプロモーション活動による販売促進を進めました。また、国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入による販売促進と収益力の強化に取り組みました。ペットケア事業におきましても、主力の高付加価値カテゴリーの商品ラインを充実し販売促進に取り組みました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は281,878百万円（前年同四半期比4.8%増 為替変動要因を除くと実質前年同四半期比5.8%増）、営業利益は34,841百万円（前年同四半期比3.7%減 為替変動要因を除くと実質前年同四半期比3.0%減）、経常利益は31,498百万円（前年同四半期比14.8%減）、四半期純利益は34,004百万円（前年同四半期比67.3%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① パーソナルケア

【ベビーケア関連商品】

国内では、ユニ・チャーム創立50周年記念企画第一弾として、『マミーポコ』、『マミーポコパンツ』で歴代の人気ディズニーキャラクター企画を実施し、販売促進に取り組みました。また『ムーニー』では、『ムーニーパンツ』Lサイズ、Bigサイズに搭載している伸縮素材「ソフトレッチ」を、新たに、はいはいサイズ、Mサイズ、Bigより大きいサイズに搭載し、ラインアップを充実しました。

一方、中国では低価格帯の紙オムツを発売し、幅広い需要に応えるとともに、参入エリアを拡大し売上成長と収益力の改善を進めました。またその他のアジア参入各国においても売上成長及び収益力の改善を図りました。

【フェミニンケア関連商品】

国内では、生理期間前後でも安心して下着汚れが防げるパンティライナー『ふわごこち快適ロング』を発売し、消費者のニーズに応じてまいりました。生理用ナプキンでは、『ソフィはだおもい』、『ソフィ超熟睡ガード』、『センターインコンパクト』シリーズなど付加価値の高い商品の販売促進に取り組み、市場の活性化を図りました。

【ヘルスケア関連商品】

大人用排泄ケア用品『ライフリー』より、ニオイを閉じ込める消臭ポリマーを配合した、『ライフリー横モレ安心テープ止め』を発売し、消費者ニーズに応じてまいりました。市場拡大が続く、軽度失禁カテゴリーでは、『ライフリーさわやかパッド 220cc』、『ライフリーその瞬間も安心 250cc』を発売し、消費者の安心ニーズに応じてまいりました。

【クリーン&フレッシュ関連商品】

化粧水をお肌に無駄なくたっぷり浸透させたいというお客様のニーズにお応えし、従来の1/2の化粧水で驚くほどうるおう化粧用パフ『シルコットうるうるスポンジ仕立て』の販売促進に取り組みました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は239,187百万円、営業利益は29,324百万円となりました。

② ペットケア

消費者ニーズを捉えた商品の開発・市場創造に努め、国内ペット飼育の4大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」を踏まえた商品ライン拡充と販売促進を行いました。

ペットフード部門では、小型犬・猫飼育者のニーズである、“おいしさ”“栄養バランス”“使いやすさ”に対応した、カップタイプの新商品『愛犬元気カップ』、『ねこ元気カップ』の販売促進に取り組みました。また、市場拡大が見込める中国において犬猫フードの発売を開始しました。

ペットトイレタリー部門では、新開発の消臭フィルターと消臭・吸収シートの2層構造でモレとニオイをガードする『わんちゃん用デオトイレ』の販売促進を図り、新たな市場を創造する提案を行ないました。

この結果、ペットケア事業の売上高は37,204百万円、営業利益は5,286百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、その他事業の売上高は5,486百万円、営業利益は212百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は468,470百万円（前連結会計年度比52.2%増）となりました。主な増加は、繰延税金資産56,960百万円、のれん53,865百万円、現金及び預金31,810百万円であり、主な減少は、投資有価証券△3,440百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は243,621百万円（前連結会計年度比142.7%増）となりました。主な増加は、転換社債型新株予約権付社債80,656百万円、長期借入金69,638百万円であり、主な減少は、未払法人税等△9,600百万円、賞与引当金△1,635百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は224,849百万円（前連結会計年度比8.4%増）となりました。主な増加は、当第3四半期純利益34,004百万円であり、主な減少は、少数株主持分△7,963百万円、為替換算調整勘定△4,208百万円、剰余金の配当金の支払△4,845百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結累計期間末における自己資本比率は44.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成22年7月30日発表と変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

③「表示方法等の変更」

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結累計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めておりました「前払年金費用」は、資産の状況をより明確に表示するため、区分掲記することといたしました。なお、前第3四半期連結累計期間において投資その他の資産の「その他」に含んでいた「前払年金費用」の金額は5,600百万円であります。

前第3四半期連結累計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めておりました「繰延税金資産」は、重要性が増したため、区分掲記することといたしました。なお、前第3四半期連結累計期間において投資その他の資産の「その他」に含んでいた「繰延税金資産」の金額は1,045百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,685	99,875
受取手形及び売掛金	46,484	41,643
有価証券	1,899	1,499
商品及び製品	11,003	11,607
原材料及び貯蔵品	9,629	8,205
仕掛品	282	273
その他	21,808	9,222
貸倒引当金	△34	△75
流動資産合計	222,758	172,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,707	26,507
機械装置及び運搬具(純額)	45,030	44,983
その他(純額)	22,322	23,866
有形固定資産合計	98,060	95,356
無形固定資産		
のれん	65,895	12,029
その他	2,570	2,582
無形固定資産合計	68,465	14,612
投資その他の資産		
前払年金費用	5,631	5,534
投資有価証券	14,611	18,052
繰延税金資産	58,064	1,103
その他	1,856	1,887
貸倒引当金	△978	△1,025
投資その他の資産合計	79,186	25,552
固定資産合計	245,711	135,521
資産合計	468,470	307,773

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,615	36,135
短期借入金	6,621	6,305
未払法人税等	789	10,390
賞与引当金	2,222	3,858
その他	40,158	35,635
流動負債合計	86,407	92,324
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	80,656	—
長期借入金	70,582	943
退職給付引当金	2,436	2,325
その他	3,538	4,766
固定負債合計	157,214	8,035
負債合計	243,621	100,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	217,583	188,696
自己株式	△36,343	△36,329
株主資本合計	216,034	187,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,947	2,795
繰延ヘッジ損益	△31	8
土地再評価差額金	△89	△618
為替換算調整勘定	△9,668	△5,459
評価・換算差額等合計	△6,842	△3,273
新株予約権	95	—
少数株主持分	15,561	23,524
純資産合計	224,849	207,413
負債純資産合計	468,470	307,773

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	269,059	281,878
売上原価	145,478	151,910
売上総利益	123,580	129,967
販売費及び一般管理費	※1 87,407	※1 95,126
営業利益	36,173	34,841
営業外収益		
受取利息	359	428
受取配当金	219	221
為替差益	1,745	—
その他	528	649
営業外収益合計	2,853	1,299
営業外費用		
支払利息	165	208
売上割引	1,803	2,272
為替差損	—	1,863
その他	85	299
営業外費用合計	2,054	4,643
経常利益	36,972	31,498
特別利益		
固定資産売却益	35	998
関係会社出資金売却益	—	1,214
その他	—	108
特別利益合計	35	2,321
特別損失		
固定資産処分損	455	714
貸倒引当金繰入額	417	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	71
その他	120	156
特別損失合計	993	942
税金等調整前四半期純利益	36,014	32,877
法人税、住民税及び事業税	13,086	63,519
法人税等還付税額	—	△1,116
法人税等調整額	△1,609	△65,084
法人税等合計	11,477	△2,681
少数株主損益調整前四半期純利益	—	35,558
少数株主利益	4,213	1,553
四半期純利益	20,323	34,004

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	223,871	36,479	8,707	269,059	—	269,059
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	2	3	(3)	—
計	223,872	36,479	8,710	269,062	(3)	269,059
営業利益	28,319	6,839	981	36,140	32	36,173

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
 (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
 (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	170,640	68,465	29,952	269,059	—	269,059
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	9,795	1,586	—	11,381	(11,381)	—
計	180,435	70,051	29,952	280,440	(11,381)	269,059
営業利益	25,233	9,306	1,638	36,178	(5)	36,173

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等
 (2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	68,473	17,822	13,156	99,452
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	269,059
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	25.4	6.6	4.9	37.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア、エジプト、アメリカ等

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、パーソナルケア、ペットケア、その他の3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「パーソナルケア」「ペットケア」「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「パーソナルケア」は、ベビーケア関連商品等、フェミニンケア関連商品等、ヘルスケア関連商品等、クリーン&フレッシュ関連商品等の製造・販売をしております。「ペットケア」は、ペットフード関連商品等、ペットトイレタリー関連商品等の製造・販売をしております。「その他」は、産業資材関連商品等の製造・販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	パーソナルケア	ペットケア	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	239,187	37,204	5,486	281,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	17	17
計	239,187	37,204	5,503	281,895
セグメント利益 (営業利益)	29,324	5,286	212	34,823

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	34,823
セグメント間取引消去又は全社	17
四半期連結損益計算書の営業利益	34,841

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
※1 販売費及び一般管理費の主なもの		※1 販売費及び一般管理費の主なもの	
販売運賃諸掛	13,778百万円	販売運賃諸掛	14,683百万円
販売促進費	31,490百万円	販売促進費	37,811百万円
広告宣伝費	9,237百万円	広告宣伝費	9,369百万円
従業員給与・賞与	9,330百万円	従業員給与・賞与	9,253百万円
賞与引当金繰入額	796百万円	賞与引当金繰入額	998百万円
退職給付費用	1,047百万円	退職給付費用	1,102百万円
減価償却費	1,466百万円	減価償却費	1,033百万円